

新潟県の2050年カーボンゼロに向けた取組

新潟県 副知事 鈴木 康之

◆日本有数のエネルギー供給基地

- 天然ガス生産量は国内の約 8 割、原油生産量は約 7 割を占める
- 電力移出（供給）県であり、発電量の約 6 割を県外へ送電
- 集積する技術・インフラ等（主要港湾・パイプライン等）を活用し、CNに向けた産業や価値を創出



JR東日本 宮中取水ダム（十日町）

◆豊かな自然と豪雪地帯



- 長い海岸線や、信濃川など豊富な水資源（全国第 4 位の包蔵水力）、全国第 6 位の広大な森林面積
- 県土全体が豪雪地帯であり、冬は日射量が低下するものの、太陽光発電等の導入ポテンシャル有

新潟県の2050年カーボンゼロに向けた歩み



気候変動非常事態宣言

2020.9 **2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロ表明**

2022.3 **新潟県2050年カーボンゼロの実現に向けた戦略 策定**

- ✓2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減
- ✓2050年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す

2025.4 **新潟県脱炭素社会の実現に関する条例 施行**

- ✓地域の脱炭素化と経済の活性化を図る
- ✓将来の世代に豊かな自然及び安全で快適な生活環境を継承

オール新潟で脱炭素社会の実現に向けた取組を加速化



新潟県の脱炭素社会実現に向けた取組の方向性



再エネ・脱炭素燃料等の『①創出』

再エネ導入促進



イメージ画像

カーボンニュートラルポートの形成



直江津港



新潟東港

再エネ・脱炭素燃料等の『②活用』

水素供給・CCUS※拠点整備



実証試験 出典：(株)INPEX Webサイト

※CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage
CO₂を分離・回収・貯留・利用する技術

脱炭素型ライフスタイルへの転換を推進

省エネ・省資源でCO₂排出を『③削減』

森林資源の活用

CO₂の『④吸収・貯留』

